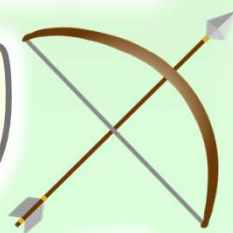


五斗長垣内遺跡ボランティア五斗長の風 企画展

わたしたちが選ぶ土器！っと展 Part5

# ちっちゃなやじり



# みつけた

いろんな  
かたち

矢じりは、矢の先にとりつけられ、戦いや狩りの道具として使用される道具です。鏃と書いて「ぞく」と呼ばれ、素材によって石鏃（せきぞく）、鉄鏃（てつぞく）、銅鏃（どうぞく）などに分類され、形などもさまざまなものがあります。本展示では、本遺跡のやじりをはじめとして、市内で発見された「矢じり」をご紹介します。

令和8年1月27日（火）

▶ 令和9年1月24日（日）

五斗長垣内遺跡活用拠点施設  
展示室

〒656-1601 兵庫県淡路市黒谷1395-3

TEL/FAX：0799-70-4217

開館：午前9時から午後5時

休館：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）  
年末年始（12月28日から1月3日）

見学科：無料

この企画展は、日ごろ、五斗長垣内遺跡で活動しているボランティアグループ「五斗長の風」が中心となって五斗長垣内遺跡の魅力を伝える取組として、開催するものです。鉄器づくりのムラとして国史跡となった五斗長垣内遺跡ですが、その魅力は鉄器だけにとどまりません。今回は、五斗長垣内遺跡や市内の遺跡から出土した遺物の中から、皆さまに知っていただきたい出土品を選んで展示しました。

